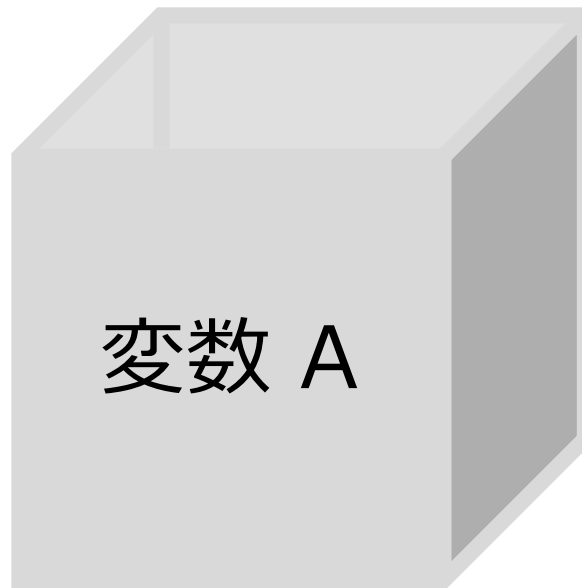

PHP

2 日目

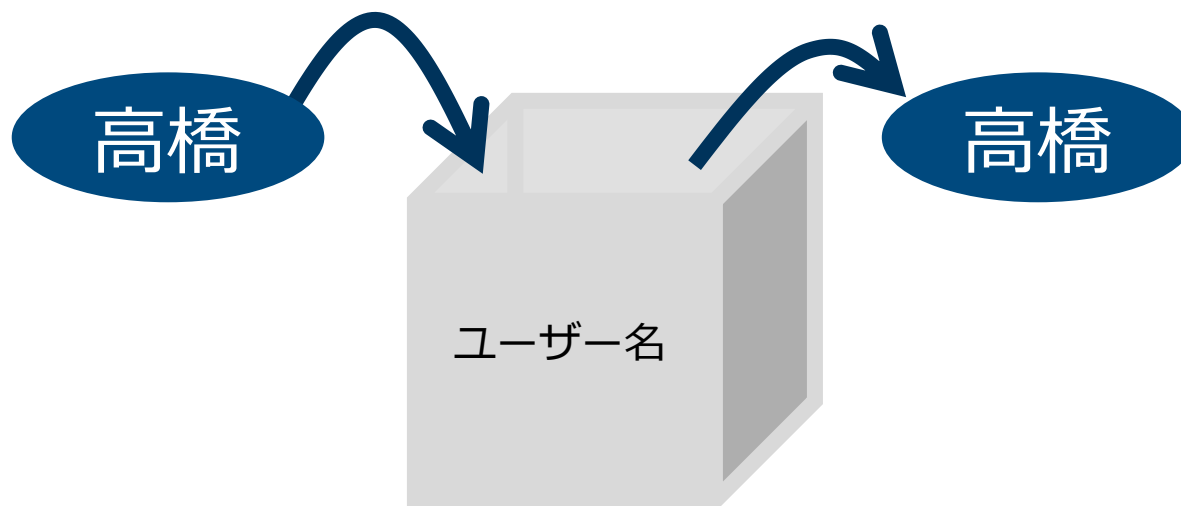
変数とは？

あとで、何かしらの値が入る領域のこと

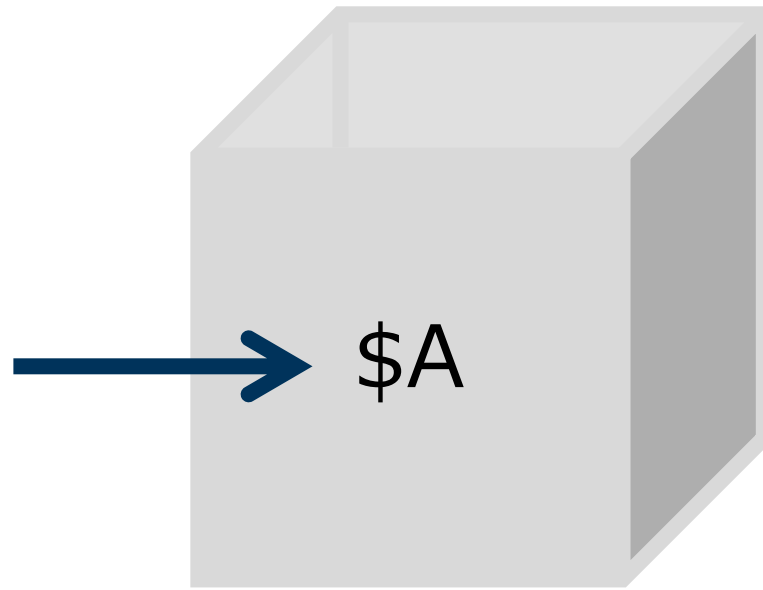


何に使うの？

値を入れたり、出して使ったり。
プログラムに広がりが出る。

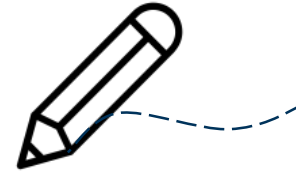


変数名の前には「\$」をつける



変数を探してください

```
<?php  
$suugaku= 45;  
$eigo= 82;  
if ($suugaku> 50 || $eigo> 50){  
echo "この人は合格です";  
}  
?>
```



```
<?php
```

```
$suugaku = 45;
```

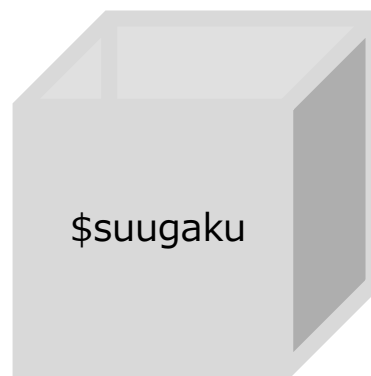
```
$eigo = 82;
```

```
if ($suugaku > 50 || $eigo > 50){
```

```
    echo "この人は合格です";
```

```
}
```

```
?>
```



大文字と小文字は区別される

すべて別の変数



\$ ABC

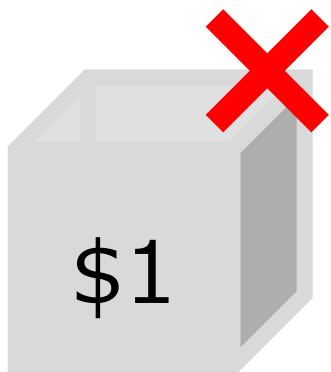


\$ abc



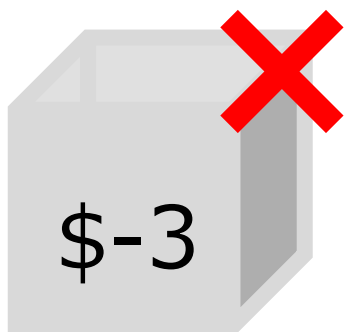
\$ Abc

変数名に使えないもの

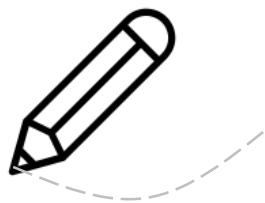


数字

ただし、
アルファベットのうしろにつく場合は良い
(\$a2、\$_d555 など)



アンダーバー
「 」 以外の記号



\$8

\$abc

\$/dk

\$8924

\$Xyz

\$abc-xyz

\$-3

\$a2

\$_d555

✕ \$8

数字は NG

✕ \$8924

数字は NG

✕ \$-3

「_」以外は NG

\$abc

\$Xyz

\$a2

✕ \$/dk

「_」以外は NG

✕ \$abc-xyz

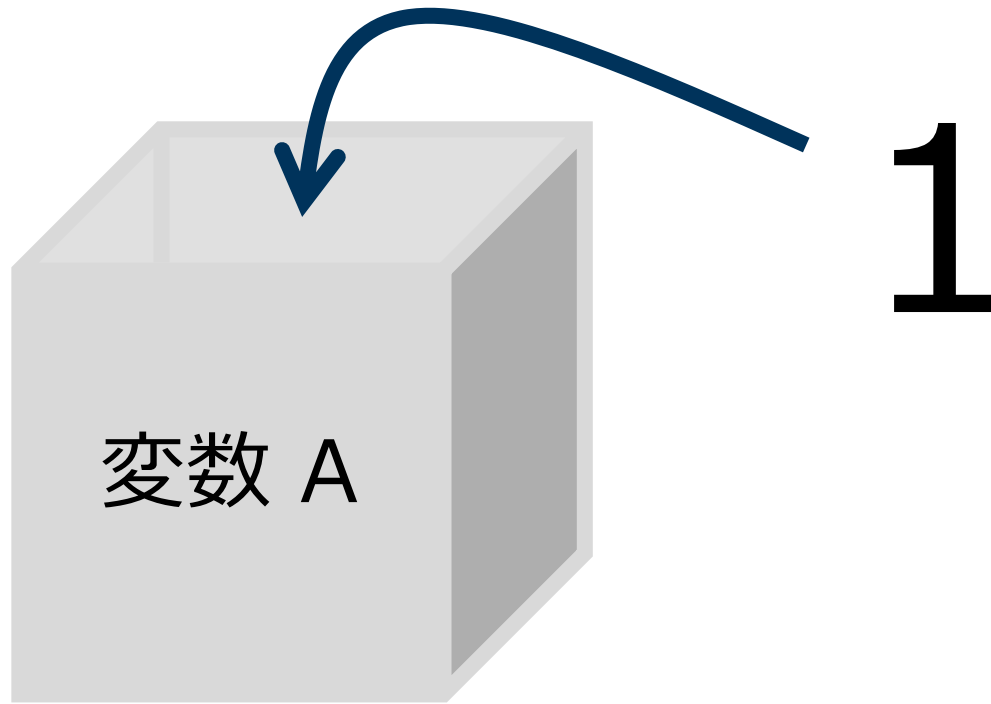
「_」以外は NG

\$_d555

「_」はOK

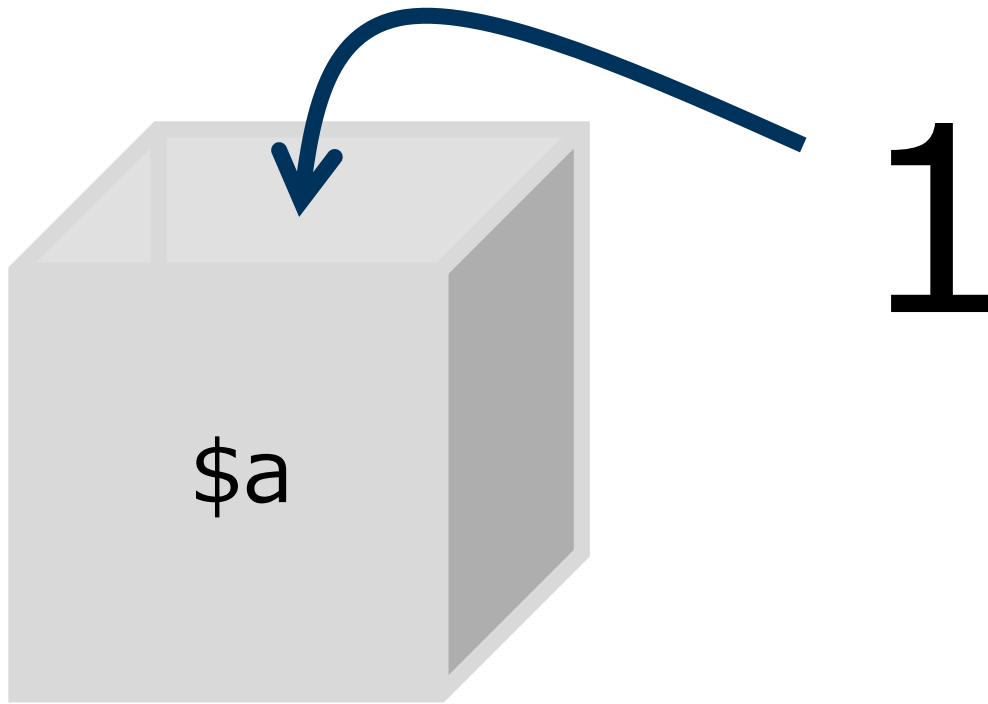
変数には値を入れることができる

「代入」と言います



代入は「=」で書く

$\$a = 1$



利用例

解説

例では、変数 `$name` に「高橋」を代入し、それを `echo` で出力しています。
結果として、実際のweb上での表示は、「高橋」と表示されます。

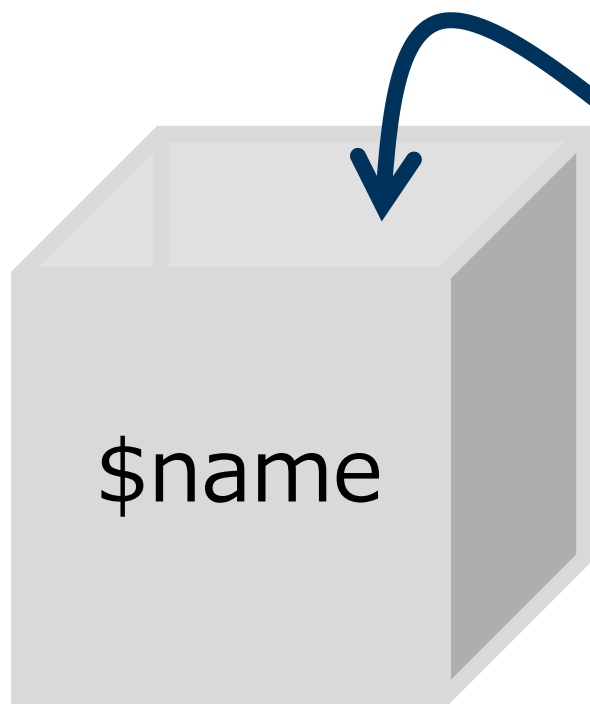
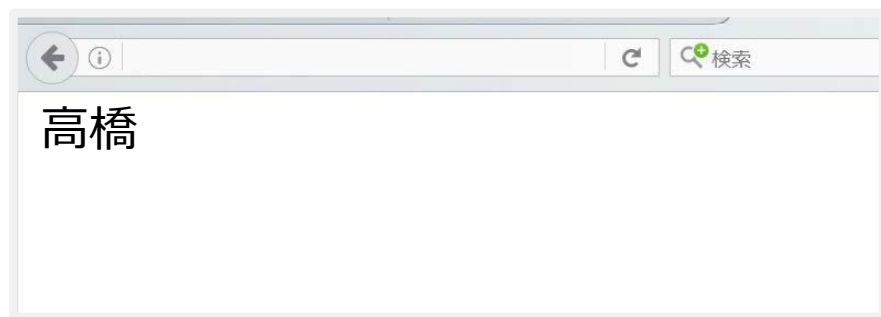
PHP

```
<?php  
$name = "高橋";  
echo $name;  
?>
```

代入して

出力

実際のweb上での表示



"高橋"

文字列は " " で
囲みましょう

PHP

```
<?
$a1 = "鈴木";
echo $a1;
?>
```

実際のweb上での表示



```
<?
$a2 = "Tanaka";
echo $a2;
?>
```



```
<?
$a3 = "暗号";
echo $a3;
?>
```



PHP

```
<?
$tel = "090-1234-xxxx";
echo $tel;
?>
```

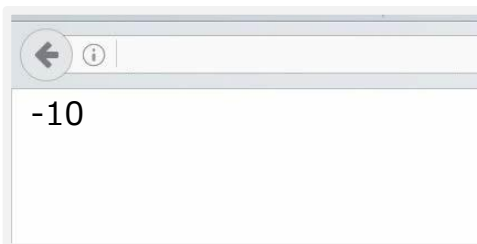
実際のweb上での表示



```
<?
$number1 = 10;
echo $number1;
?>
```



```
<?
$number2 = -10;
echo $number2;
?>
```



値を " " (ダブルクォーテーション) で囲む？ 囲まない？
使い分けは、次ページで紹介します。

「四則演算記号」で計算できる

解説

足し算「+」、引き算「-」、掛け算「*」、割り算「/」を指定して、計算できます。
計算式や数字を代入するときは、値を " " で囲まないでください。

PHP

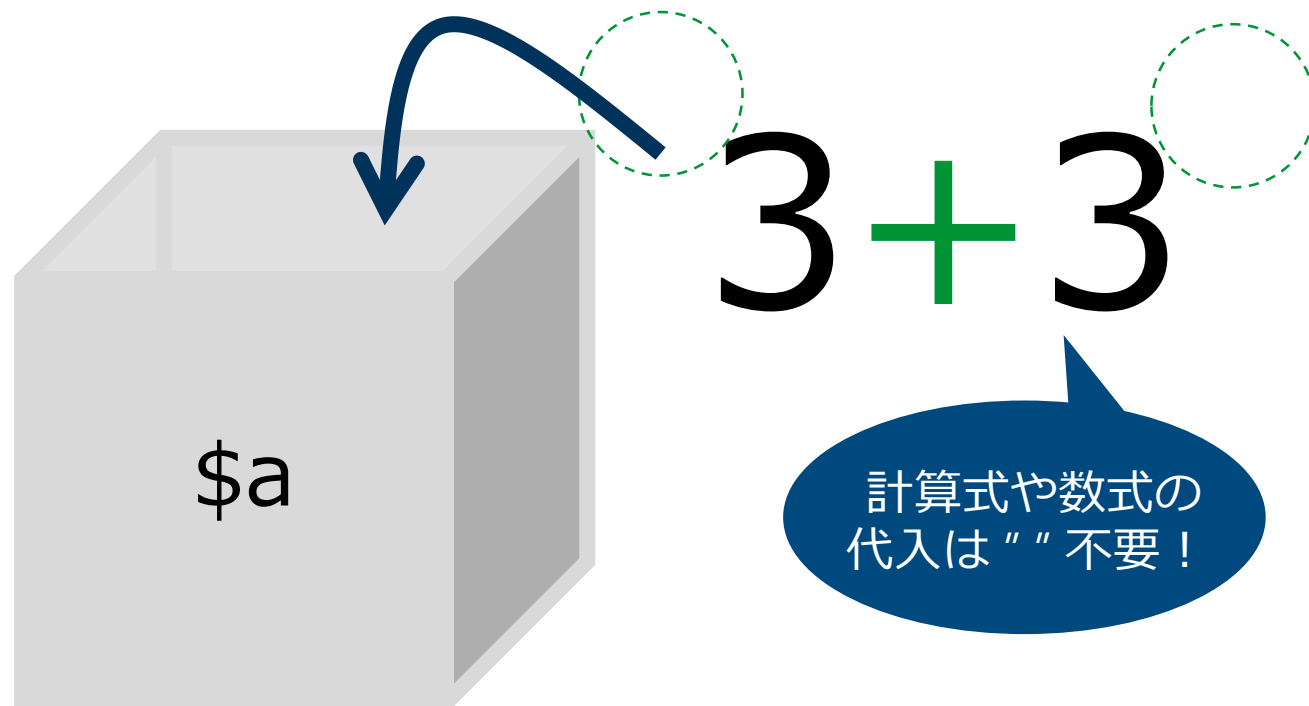
```
<?php  
$a = 3+3;  
echo $a;  
?>
```

計算式として代入

実際のweb上での表示

6

計算結果



PHP

```
<?  
$a1 = 10 / 2;  
echo $a1;  
?>
```

実際のweb上での表示



5

```
<?php  
$a2 = 4+7;  
echo $a2;  
?>
```



11

```
<?  
$a3 = -5+3;  
echo $a3;  
?>
```



-2

```
<?  
$a4 = -5-3;  
echo $a4;  
?>
```



-8

PHP

```
<?  
$a5 = 2*5;  
echo $a5;  
?>
```

実際のweb上での表示



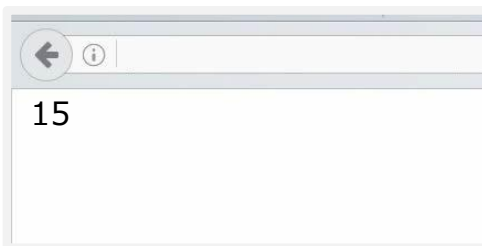
10

```
<?  
$a6 = -20/2;  
echo $a6;  
?>
```



-10

```
<?  
$a7 = -5*-3;  
echo $a7;  
?>
```



15

“ ” で囲むと文字列になる

解説 “ ” で囲むと、数式ではなく、文字列として認識されます。

PHP

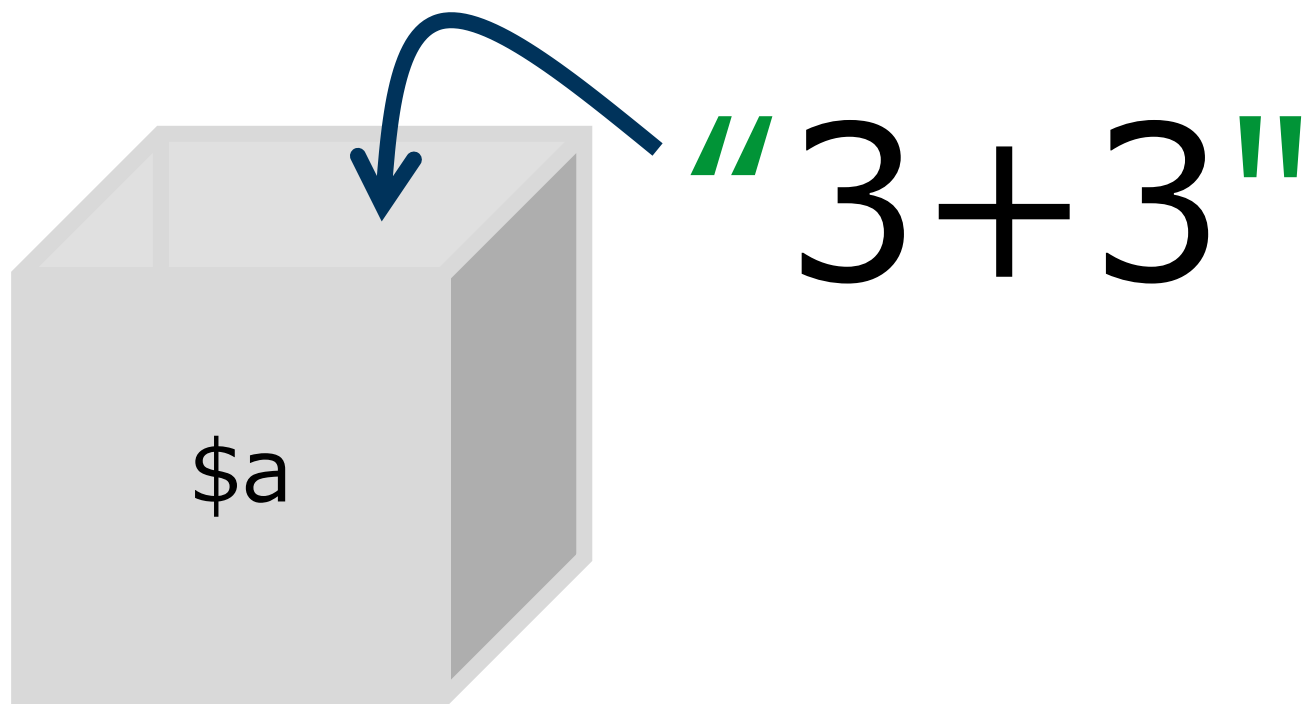
```
<?php  
$a = "3+3";  
echo $a;  
?>
```

文字列を代入

実際のweb上での表示

3+3

そのまま表示



PHP

```
<?
$a1 = "10 / 2";
echo $a1;
?>
```

実際のweb上での表示



10 / 2

```
<?php
$a2 = "4+7";
echo $a2;
?>
```



4+7

```
<?
$a3 = "-5+3";
echo $a3;
?>
```



-5+3

```
<?
$a4 = "-5-3";
echo $a4;
?>
```



-5-3

PHP

```
<?
$a5 = "2*5";
echo $a5;
?>
```

実際のweb上での表示



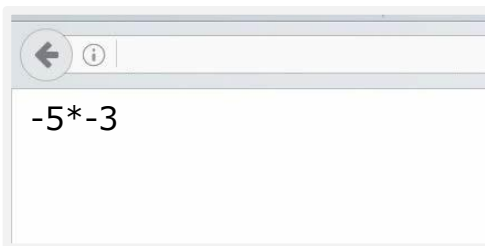
2*5

```
<?
$a6 = "-20/2";
echo $a6;
?>
```



-20/2

```
<?
$a7 = "-5*-3";
echo $a7;
?>
```



-5*-3